

ワシントン州 標準12ヶ月で完走 学習&単位取得モデルプラン (4年制大学(院)卒の方でビジネス単位を多くお持ちの方のケース)

学習プラン	第Ⅰ期			第Ⅱ期			第Ⅲ期			第Ⅳ期			第Ⅴ期					
	FAR			BEC			REG			AUD			直前対策					
本試験	1. 出願州の選択			2. 学歴審査の依頼						3. 出願手続き			4.NTSの受領 5. 受験会場の予約			本試験受験		
	(4)月	(5)月	(6)月	(7)月	(8)月	(9)月	(10)月	(11)月	(12)月	(1)月	(2)月	(3)月	(4)月	(5)月	(6)月	(7)月	(8)月	(9)月
単位取得プラン	コンピュータ			コンピュータ			コンピュータ			コンピュータ			コンピュータ			コンピュータ		
	① BU 入学登録 ② BU 試験申込			② BU 試験申込			② BU 試験申込			③ BU 各種証明書発行申込								
	1回目 ATG157			2回目 ATG158 ATG301 ATG302			3回目 ATG314			4回目 ATG401 ATG414 ATG477								

※上記は、すでにビジネス単位を24単位以上お持ちの方のケースとなります。

黄色の吹き出しは、本試験に関わる手続き。紫色の吹き出しは、BU単位認定試験に関わる手続き。
この学習&単位取得モデルプランは、それぞれのケースに応じた形で推奨される単位認定試験の受験順序を示したものです。

学習開始時期や講義日程などによって、必ずしもこのようにならないこともあります。
ご卒業(在学中)の大学等ですでに取得している単位(または取得できる単位)によって、単位取得スケジュールが変わってくる場合もあります。

既に同等の単位を取得されている場合、また取得見込みの場合は、必ずしもBUで単位を取得する必要はありません。

※単位認定試験:会場試験は2・8月にLAで、5・11月にNYで実施しています。コンピューター試験は日本国内のピアソンVUEテストセンターにおいて通年で実施しています。

※直前対策(Simulation対策講義・Written Communication対策講義:通信専用クラス)は、FARの講義が終了する頃に一括発送いたします。

ワシントン州

必要単位数 (概略)	4年制大学卒・ 学位	会計24単位+ビジネス24単位 (うちUpper 15単位) (総取得単位数150単位)
---------------	---------------	---

ビジネス単位を24単位以上お持ちの方の場合、License申請のための実務経験要件に必ずしも監査法人での実務を要求しないワシントン州を目標とされる方が多いようです。右記はすでにビジネス単位を24単位以上お持ちの方のトータルコストとなります。

※TACでは最大24単位のビジネス単位が取得可能です。ただし、一部のビジネス単位については、ビジネス単位取得クラス(別料金)の受講が必要です。

学習	TAC 入会金	※1 ¥10,000
	「総合本科生」(国内通学) 受講料	¥504,000～
単位取得	ブラッドリー大学 入学登録料	¥7,000
	ブラッドリー大学単位認定試験 受験料(8科目24単位) 日本国内ピアソンVUEテストセンター試験 @¥18,000 (BU成績証明書発行手数料等は別途お支払いください。) (BU単位認定試験「取得サポート制度」適用)	¥144,000～
Total		¥665,000～

※1 無料講座説明会・e-ガイダンスで「入会金免除券」プレゼント!!

〈単位取得例〉

1回目 ATG 157 Principles of Accounting-Financial	2回目 ATG 158 Principles of Accounting-Manual ATG 301 Intermediate Accounting I ATG 302 Intermediate Accounting II	3回目 ATG 314 Cost Accounting	4回目 ATG 401 Advanced Accounting & NPA ATG 414 Advanced Managerial Accounting ATG 477 Federal Tax-Individual
--	--	-----------------------------------	---

※指定科目はありませんが、会計24単位のうちUpper Level (BUの場合300、400、500番台の科目)またはGraduate Level (大学院レベル)の単位が15単位以上であること。